

令和4年5月20日

あさひの日だまり

NO.6

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～お母さんお父さんが挨拶で迎えてくださいました～



感染症がひろがりをみせるまでは、本校では、PTA活動として、笑顔あいさつ運動に継続的に取り組んで下さっていました。しかし、ここ2年間は感染防止対応で、この活動が休止しておりました。今年度は、年度当初のPTAの会議において、期間を限定してぜひ活動を再開しようということになりました。そして、5月の月上旬に役員の皆様による笑顔あいさつ運動が実現しました。

写真のように、早朝から保護者の皆様が昇降口に立って、児童を笑顔と挨拶で迎えてくださいました。

子どもの中には、大きな声で挨拶を返す児童もいますし、恥ずかしそうに小さな声で挨拶を返す児童もいます。

それでも、どの児童も共通して、保護者の方に声をかけられると、少し表情を緩めながら玄関へ入っていききました。

「あっ ○○ちゃんのお父さんだ」と嬉しそうに声をあげながら玄関へ入っていく児童もいました。誰かに「おはよう」と声をかけられたとき、子どもたちは自分の存在を認めてもらえていることを実感します。嬉しい気持ちになります。どの児童もそんな嬉しい気持ちで学校生活をスタートできたことと思います。活動を計画していただいたPTAの皆様には心から感謝いたします。

～運動会の準備が進んでいます～

素敵な思い出ができますように



6月4日(土)に運動会が予定されています。朝の全校運動や写真のように校庭の石拾い。体育の授業での種目練習と、全校をあげて準備を進めています。本当なら、児童のご家族だけではなく親戚の方や、地域の方、来入児やそのご家族など、できるだけ多くの方に来校いただいて、子どもたちの頑張りに声援を送っていただきたいところなのですが、昨今の社会の状況から、やむをえず、半日での開催、来校者も少人数に限定して行うことといたしました。児童の頑張りをぜひ見てあげたいと考えたおられた方で、来校がかなわない方には心からお詫び申し上げます。また、兄弟関係で、未就学児がおられるご家庭では、運動会間のお子様の対応に苦慮されることがあるかとも思います。重ねてお

詫び申し上げます。来年度の運動会こそは、子どもたちが終日、校庭で元気に走り回れるような状況になりますように心より祈りたいと思います。

このような状況下ではありますが、「運動会は楽しみ？」と何人かの6年生に尋ねたところ、全員「ハイ」と答えてくれました。6年生の児童にとっては最後の運動会です。「最後の運動会楽しかったな！」と思えるように、児童には良い思い出をぜひ作ってほしいと願っています。

～陸上競技会が開催されます～

応援しています「頑張れ！」

22日(日)に伊那市陸上競技場において「上伊那小学生陸上競技大会」が開催されます。本校からも、6名の児童

が出場します。選手の皆さんは、大会へ向けて毎日早朝より練習に励んでいます。当日は、感染防止対応で応援等に制限があるようですので、全校児童の皆さんには、それぞれの家庭からぜひ応援の気持ちを送っていただけたら、選手たちの励みになると思います。「頑張れ！辰野東の選手たち！！」



長距離へ出場する選手は先生と一緒に走っています。



短距離選手がスタートのタイミングを練習していました。

～校長講話がありました～

20日の朝、校長講話がありました。朝の大切な時間を少しいただいて、お話をさせていただきました。願いとしては、児童の皆さんが、少しでも「勉強って楽しいかも」と思ってもらえればと思ってお話をしました。内容は「カエル」についてのお話です。ZOOMを使って話しましたが、画面の向こうで退屈そうな児童の姿が見えたりして、まだまだ校長としての修行が足りないな、などと思いながらお話ししました。それでも、児童が少しでも、学習への興味を高めてくれたら嬉しいです。当日お話した内容を掲載させていただきます。もしお時間がありましたらお読みくださいませ。

皆さんおはようございます。

今日は皆さんに「カエル」についてお話をしようと思います。

私の子どもは小さい頃、未来の夢を聞かれて、「カエル」になりたいですと真面目に答えていました。よほどカエルが好きだったのだろうと思います。

先生はこの前、近くの田んぼから「カエル」を4匹連れてきました。そして何日か大きなバケツの中で飼いました。このバケツです。倉庫の中に置きました。



アマガエルが1匹。トノサマガエルが3匹です。アマガエルには「ミドリ」ちゃん、トノサマガエルには「トノ」ちゃん「サー」ちゃん「マー」ちゃんと名前を付けました。

水を入れて、休むためのレンガの島を置きました。

餌をあげるときにはバケツのふたを開けます。ふたを開けると、いつでも「ミドリ」はバケツの一番上まで来ています。そして、「トノ」「サー」「マー」はいつでも水の中にいます。先生は「ミドリ」はここから逃げたいからバケツの一番上まで来てるんだな～と思いました。

だから、ちょっとかわいそうだと思ったけど、餌をあげる間に逃げちゃわないように、ふたを開けるとすぐに「ミドリ」を水の中に戻しました。

ある日、先生は「ミドリ」って可愛いな～と思ってバケツの一番上にちょこんと座っている「ミドリ」を見つめていました。「ミドリ」はバケツの外に飛び出そうとしませんでした。ずっと長い間「ミドリ」を見ていました。で



も、いつまでたっても「ミドリ」は飛び降りません。次の日も次の日もふたを開けるといつでも「ミドリ」が一番上にいます。ふたを開けておいて先生がその場を離れても「ミドリ」は一度も逃げ出しませんでした。逃げようと思えば逃げられるのに、どうして外に逃げていけないのか、不思議だな～と思いました。

先生は理由を考えました。先生のことが好きだから近くまで来てじっとしてくれていたのでしょうか。

みなさん「ミドリ」はどうして逃げていかなかったと思いますか。

先生の頭の中にある考えが浮かびました。それは「ミドリ」はバケツから逃げ出すためにいつも一番上まで来ているわけではない。という考えです。

だって、バケツはいつもふたをしているのです。逃げ口がどこにあるのか「ミドリ」にはわからないはず。それでも「ミドリ」はいつもバケツの一番上まで来てじっとしています。「バケツを登るのは逃げるためではないぞ」と思えてなりません。

先生は「ミドリ」と「トノ」を近くでよく見てみました。みなさん、この写真をよく見て下さい。

見えますか、「ミドリ」と「トノ」の指先の違いが。

「ミドリ」の指先には吸盤がついています。「トノ」の指先には吸盤がありません。

アマガエルは、この吸盤を使って、どんどん高いところへ登って行くのです。トノサマガエルは、のそのそ水の中と地面をはい回るのです。



そういえば、先生はりんごを育てている農家の友だちからこんな話を聞いたことがありました。りんごの木の上の方にある葉っぱの上でよくアマガエルを見かけるよって。

先生はある予想をたてました。

アマガエルは高いところにいるえさが好物で、トノサマガエルは地面にいるえさが好物に違いないと。

昨日の朝、1年生の女の子が先生に教えてくれました。家で飼っているアマガエルには、蛾やハエをあげてるんだよって。しかも、実際に食べるのを見たことがあるんだよって。

さあみなさん、それじゃあ、トノサマガエルの好物は何だと思いますか。先生は、調べてみました。

トノサマガエルはミミズを食べるんです。そしてコオロギも食べます。それから地面で暮らすクモなどが好物です。調べてみたら、ヘビやトカゲを食べることもあると書いてありました。

これってどれも高いところを飛んだりしない地面で暮らす生き物ですね。

先生の予想はあたった気がします。

「ミドリはなぜいつもバケツの一番高いところへ登ってじっとしていたのか」先生の疑問はこうして解決できました。そうです。「ミドリ」はあそこで、私が来るのを待っていてくれたのではありません。餌が飛んで来るのをじっと待っていたのです。だから逃げ出したりしなかったのです。

トノサマガエルの指先に吸盤はいらないのです。それは、地面を歩いて餌をとるからです。「ミドリ」と「トノ」たちは、同じカエルだけど、好物が違いました。だから暮らす場所を変えていました。そのために体のつくも変えていました。そうやってえさの取り合いをしなくて済みようになっていたのですね。



先生は一つ勉強したな~と思いました。

みなさんが勉強をしていると「えっ なんで?」とか「本当にそうなのかな?」とか「不思議だな~」とか「いつでもそうなのかな~」っていう疑問にぶつかることがあります。その疑問を解き明かしていくことってとっても楽しいですね。学校の授業の中で、そんな勉強の時間を楽しめたら素敵だなと思います。どうぞみなさん、今年1年間、先生と一緒に授業をたくさん楽しんで下さい。

先生の話はこれで終わりです。